

国際生物学オリンピック日本委員会
委員長 道上 達男

第 36 回国際生物学オリンピック日本代表決定

～ フィリピン共和国／ケソンで開催される国際大会で、世界の仲間と生物学を深める ～

国際生物学オリンピック日本委員会(委員長:道上 達男)は、2025 年 7 月 20 日から 27 日までの 8 日間、フィリピン共和国／ケソンで開催される第 36 回国際生物学オリンピックに派遣する日本代表 4 名および次点者 2 名を決定しました。

日本代表および次点者は、全国 1,812 名の受験者から三次にわたる試験を経て選ばれました。今後、大学教員や専門家も交えた国際生物学オリンピック日本委員会・プロジェクトチームによる特別教育を受け、7 月の国際大会に臨みます。

第 36 回国際生物学オリンピック 日本代表(五十音順)

氏名	フリガナ	性別	在学学校(所在地)	学年
大島 寛生	オオシマ ヒロキ	男	埼玉県立大宮高等学校 (埼玉県)	高3
高山 歌歩	タカヤマ カホ	女	洛南高等学校 (京都府)	高1
竹之内 涼介	タケノウチ リョウスケ	男	開成高等学校 (東京都)	高3
丸谷 周	マルタニ イタル	男	筑波大学附属駒場高等学校 (東京都)	高3

同 次点者(五十音順)

次点者 2 名は日本代表 4 名とともに代表団として同じ特別教育に参加し、日本代表に参加できない事由が発生した際には代わって国際大会の日本代表となります。

氏名	フリガナ	性別	在学学校(所在地)	学年
川原 紗和	カワラ サワ	女	金沢大学附属高等学校 (石川県)	高3
番匠 優希	バンショウ ユウキ	男	渋谷教育学園渋谷高等学校 (東京都)	高3

国際生物学オリンピックは、世界の中等教育学校の生徒を対象にした生物学の国際的なコンテストです。生物学への関心を高め、参加者の才能を開花させるとともに、各国の生物学教育について情報を交換したり、生物学を学ぶ若者の国際交流を促進するために毎年開催されています。1990 年の第 1 回大会(旧チェコ・スロバキア/オロモウツで開催)から数えて第 36 回となる 2025 年の国際大会はフィリピン共和国／ケソンで開催されます。

日本代表の抱負

大島 寛生 埼玉県立大宮高等学校（埼玉県）

去年、予選を申し込んだ時には、「本選に行けたらいい」くらいの気持ちで、実際、予選抜けは余裕ではなかったですが、本選行けるとなって、勉強してきた成果がこういう結果につながり嬉しいです。世界大会でも、これまでの様に、予想以上の力を出せるよう頑張っていきたいです。

高山 歌歩 洛南高等学校（京都府）

大好きな生物学で最高の舞台に立てることを光栄に思います。
幼少時から続けている、里山などでの自然観察から、今日の生物学オリンピックまで、私の生物学は沢山の人の支えていただきました。
支えてくださった方々に喜んでいただける結果を残したいです。

竹之内 涼介 開成高等学校（東京都）

この度、日本代表に選ばれたこと、非常に嬉しく思っています。
国際大会に向け、これからの貴重な機会を、まず楽しみつつ、良い結果を残せるように努めたいと思います。

丸谷 周 筑波大学附属駒場高等学校（東京都）

日本代表に選出され、大変光栄です。生物学の勉強を始めて数年ですが、生物の持つメカニズムや多様性、社会における生物学の有用性に魅力を感じています。国際大会ではベストを尽くすとともに、各国から集まる選手との交流やイベントも積極的に楽しみたいと思います。

<問い合わせ先>

国際生物学オリンピック日本委員会（JBO）

委員長 道上 達男

東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号科学技術館内

E-Mail : jbo@jsf.or.jp URL : <https://www.jbo-info.jp/>

公益財団法人日本科学技術振興財団 人財育成部 四村

TEL 03-3212-8518 FAX 03-3212-0014

参考資料

■ 国際生物学オリンピック (International Biology Olympiad : IBO)について

国際生物学オリンピック(IBO)は生物学に関心を持つ中等教育学校の生徒を対象とした国際的なコンテストです。

- ・生物学の問題や実験に挑戦し、生物学への興味と創造性やねばりづよさを競う。
- ・参加する生徒の能力を伸ばし、科学者への道に導く。
- ・生物学を学ぶ生徒どうしの国際的交流の機会をあたえる。
- ・生物学教育に関するアイデアと教材の国際的な交換を推進する。

これらを目的に 1990 年に旧チェコ・スロバキアのおロモウツで第 1 回大会が開催されて以来、毎年開催国を持ち回りにより開催されています。

コンテストは、生物学に関する理論課題試験と実技課題試験によって競われます。また、それだけでなく、参加者同士の国際的交流をはかることも重要な要素とされています。毎年 7 月に開催される大会には、各々の国内選考を経て選ばれた 4 名の代表生徒と引率役員が各国・地域から参加します。

■ 国際生物学オリンピックにおける日本代表の成績

開催年	開催数	開催国	開催期間	参加国地域	参加者数	日本代表(4名)の成績
2005年	第16回	中国／北京	7月10～17日	50	198名	銅メダル 2名
2006年	第17回	アルゼンチン／リオクアルト	7月9～16日	47	198名	銅メダル 3名
2007年	第18回	カナダ／サスカトゥーン	7月15～22日	49	192名	銀メダル 1名 銅メダル 3名
2008年	第19回	インド／ムンバイ	7月13～20日	55	220名	銀メダル 3名 銅メダル 1名
2009年	第20回	日本／つくば	7月12～19日	56	221名	金メダル 1名 銀メダル 3名
2010年	第21回	韓国／昌原(チャンウォン)	7月11～18日	58	233名	金メダル 1名 銀メダル 3名
2011年	第22回	台湾／台北	7月10～17日	58	229名	金メダル 3名 銀メダル 1名
2012年	第23回	シンガポール	7月7～14日	59	234名	銀メダル 4名
2013年	第24回	スイス／ベルン	7月14～21日	62	240名	金メダル 1名 銀メダル 3名
2014年	第25回	インドネシア／バリ島	7月6～13日	61	239名	金メダル 1名 銀メダル 3名
2015年	第26回	デンマーク／オーフス	7月12～19日	61	239名	金メダル 1名 銀メダル 2名 銅メダル 1名
2016年	第27回	ベトナム／ハノイ	7月17～24日	68	263名	金メダル 1名 銀メダル 3名
2017年	第28回	イギリス／コヴェントリー	7月23～30日	64	241名	銀メダル 4名
2018年	第29回	イラン／テヘラン	7月15～22日	71	269名	銀メダル 2名 銅メダル 2名
2019年	第30回	ハンガリー／セゲド	7月14～21日	72	285名	銀メダル 2名 銅メダル 2名
2020年	第31回	日本/東京・オンライン開催	8月11～12日	53	202名	金メダル 1名 銀メダル 3名

2021年	第32回	ポルトガル／リスボン・オンライン開催	7月19～22日	76	304名	銀メダル 1名 銅メダル 3名
2022年	第33回	アルメニア／エレバン	7月10～18日	62	237名	金メダル 1名 銀メダル 1名 銅メダル 1名 優秀賞 1名
2023年	第34回	アラブ首長国連邦／アルアイン	7月3～11日	80	304名	金メダル 2名 銀メダル 2名
2024年	第35回	カザフスタン共和国／アスタナ	7月7～14日	81	295名	銀メダル 4名
2025年	第36回	フィリピン共和国／ケソン	7月20～27日	https://www.ibo2025.org/		

■ 日本生物学オリンピック 2024（今回の日本代表が選ばれた国内大会）

国際生物学オリンピック日本代表選考を兼ねる「日本生物学オリンピック」は、20歳未満で大学入学前の青少年を対象とした、全国規模の生物学に関するコンテストです。日本生物学オリンピック 2024 は、予選を全国一斉のオンライン試験（Computer Based Testing: CBT）、本選を熊本大学黒髪南地区で開催し、12名の代表候補者を選出しました。その後、12月末に東京大学駒場キャンパスで特別教育を実施した後、翌2025年3月に実施した代表選抜試験で代表4名と次点者2名を選抜しました。

	日程・会場等	対象
予選 オンライン試験	日程: 2024年7月14日 会場: CBTによるオンライン試験	受験者数 1,812名
本選	日程: 2024年8月25日～28日 会場: 熊本大学黒髪南地区(熊本県熊本市)	予選の成績で選ばれた80名
代表選抜試験	日程: 2025年3月16日 会場: 科学技術館(東京都千代田区)	本選試験で選ばれた12名

■ 日本生物学オリンピック 2025(次回の国際大会日本代表選考を兼ねた国内大会)

2026年7月にリトアニア共和国で開催される第37回国際生物学オリンピック日本代表選考を兼ねる日本生物学オリンピック 2025は、5月1日より参加申し込みを受け付けます。

詳しくは、ウェブページでご案内しています。JBO ウェブページ: <https://www.jbo-info.jp/>

	日程・会場等	参加対象
予選 オンライン試験	日程: 2025年7月13日 会場: CBTによるオンライン試験	20歳未満で大学等に入学する前の、おもに高校生・中学生
本選	日程: 2025年8月18日～21日 (3泊4日) 会場: 東京都立大学南大沢キャンパス (東京都八王子市)	予選の成績で選ばれる約60名
代表選抜試験	日程: 2026年3月15日 会場: 科学技術館(東京都千代田区)	本選までの成績で選ばれる約12名

■ 国際生物学オリンピック日本委員会 (Japan Biology Olympiad Committee: JBO)

国際生物学オリンピック日本委員会は、日本国内において日本生物学オリンピックを開催し、国際大

会に派遣する日本代表を選考するための三次にわたる試験を行うとともに、日本代表団を組織し、国際大会へ引率派遣しています。日本生物学オリンピックでは先端的な生物学研究にふれる機会を提供するなどして、高等学校等の生徒に対し、生物学への興味の喚起と知識の普及を図りつつ、広く科学技術一般への関心の向上と理解の増進を推し進めています。日本代表生徒の国際大会への参加体験は、将来の日本の科学技術を支える人材の育成にも役立つと期待しています。さらに、教育関係者の国際的な交流を促進し、日本の生物学教育の充実・発展に寄与することも同時に目指しています。

以上